社会・地域のための ND アカデミー

楽しい日本文学シリーズ

全6回開催 (6 回シリーズですが、各回完結型ですので、興味のある回のみの受講も歓迎します。)

第 1 回　9/7(土)

日本近代文学

作家 × マスク ＝？

— 文学は感染症をどう描いていたか —

政府の対応にブチ切れる与謝野晶子、マスクに翻弄される菊池寛。いまから 100 年以上前、スペイン風邪の大流行を多くの文人が書き残していました。それらを読み直して、現時点からもう一度パンデミックについて考えてみませんか。

講師　河野　有時　国際言語文化学部 国際日本文化学科 教授

第 2 回　9/21(土)

日本近代文学

国語の先生は読み間違えない？

— 教科書のあの作品を読み返してみる —

何かしっくりこない。国語の授業中に「違うような気がする」と思ったことはありませんか。中学、高校でみんなが習ったあの小説を読み返して、その違和感から文学の方法について考えてみます。

講師　河野　有時　国際言語文化学部 国際日本文化学科 教授

第 3 回　10/5(土)

古典文学

古事記と万葉集

— 上代日本文学 再発見 —

日本古典の濫觴とも言える上代文学。しかし、最近は入試問題にも出題されず、高校の授業でもあまり取り上げられることがなくなりました。現代人が忘れかけている古事記神話のおもしろさや万葉集の心をもう一度学びませんか。

講師　堀　勝博　国際言語文化学部 国際日本文化学科 特任教授

第 4 回　11/16(土)

古典文学

古今集と伊勢物語

— 平安朝文学 再発見 —

日本古典といえば、平安朝の文学です。今から千年以上前の、古い日本語を使った人々が、どんな思いでどんな物語を綴り、どんなふうに歌を詠んでいたのか。今回は、源氏物語の下敷きにもなった伊勢物語や古今集を取り上げます。

講師　堀　勝博　国際言語文化学部 国際日本文化学科 特任教授

第 5 回　11/30(土)

日本近代文学

石川啄木と現代短歌

— 先駆けとしての啄木短歌 —

ふり返って見ると必ず啄木がいる。現代短歌にとって、石川啄木とはそういう存在であるように思われます。では、啄木短歌はどのように先駆的だったのでしょうか。啄木を通して短歌という詩形の魅力に迫ります。

講師　河野　有時　国際言語文化学部 国際日本文化学科 教授

第 6 回　12/7(土)

古典文学

徒然草と芭蕉・蕪村

— 中世・近世の文学 再発見 —

教科書や参考書の定番としてよく知られている徒然草。世界一短い文学として知られている江戸時代の発句。その作者たちがどのようなことを考え、どんな言葉を使って世界にも類を見ないユニークな作品を創り上げたのか、考えます。

講師　堀　勝博　国際言語文化学部 国際日本文化学科 特任教授

時間
各回 10時～12時
(受付開始 9 時半～)
途中休憩あり

受講料
1 回あたり 500 円
(受講日当日に徴収)

定員
50 名
(1 回あたり)

場所
ユージニア館 4 階・E401 教室

申込受付期間
2024 年 8 月 1 日～ 2024 年 12 月 6 日
※申込受付期間を変更する場合があります

京都ノートルダム女子大学

申込方法

こちらの URL または QR コードからお申し込みをお願いします。

https://forms.office.com/r/Cez0bnGmqe

◎ 全 6 回シリーズですが、各回完結型ですので興味のある回のみの受講も歓迎します。
◎ 開催方法：対面実施（京都ノートルダム女子大学　ユージニア館 4 階・E401 教室）
◎ 受講料：1 回あたり 500 円（受講日当日に現金にて徴収）
◎ 定員：50 名（1 回あたり）

・定員いっぱいになり次第、申込を締め切ります。
・申込者がいない回は、その回の講座を実施いたしません。
・申込フォームによって知り得た個人情報は当該講座実施の目的以外には利用しません。
・定員を超過した場合、本学で調整させていただく場合がございます。
　なお、定員を超過しない場合、受講結果についての連絡は行いませんので、当日、本学までお越しください。
・講座当日に学内のミニショップ・食堂は営業しておりませんのでご了承ください。
・駐車場はございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

ND アカデミーとは

京都ノートルダム女子大学は「徳と知」を建学の精神・教育の理念とし、リーダーシップをとるに必要な高度な知識と深い倫理観を身につけ、これからの社会をしなやかに生きる女性を育成しています。
本学の第一線で活躍する教員による上質な科目の一部を、広く一般市民向けに改編し、生涯学習講座として開講することで、本学が有する知的資源を社会に還元し、社会貢献に資することを目的としています。
文学に造詣が深く、教育経験の豊かな本学教員による講座を、中学や高校で学んだ日本の古典文学・近代文学とはまた一味異なる趣向で、お楽しみください。

講師からのメッセージ

日本近代文学（第 1 回、第 2 回、第 5 回）

「文学」は社会と無縁の産物だと思われているかもしれません。実社会に対して、文学は虚構をもってするからでしょう。けれども、社会の大きな変化は当時の文学にも大きな影響を与えたでしょうし、ベストセラーが社会現象となったという例もあります。
今シリーズでは、「文学」が私たちの現代社会とどのように関わっているかを考えていきたいと思います。

古典文学（第 3 回、第 4 回、第 6 回）

日本はまれに見る古典大国です。これほど数多くの古典作品が伝承されている国は世界広しと言えどもまずないでしょう。しかし、その魅力があまり知られていないのはもったいないことです。御朱印を集めたり世界遺産を旅したりする感覚で、日本古典文学をさらっと巡ってみませんか。中高生の方の受講も歓迎します。

講師のご紹介

河野（こうの）　有時（ありとき）

東北大学大学院文学研究科国文学専攻単位取得退学。日本近代文学を専門とする。主な著書として『石川啄木』『啄木短歌論』（笠間書院）等がある。博士（文学）。国際啄木学会副会長。京都ノートルダム女子大学国際日本文化学科教授。「国際日本文化論」等を担当している。

堀（ほり）　勝博（かつひろ）

大阪外国語大学大学院外国語学研究科日本語学専攻課程修了。古代語・古代文学を専門とする。主な著書として『セミナー 万葉の歌人と作品』第 9 巻〈大伴家持 2〉（和泉書院　共著）等がある。京都ノートルダム女子大学国際日本文化学科特任教授。国語科教免科目を中心に担当している。

京都ノートルダム女子大学
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町 1 番地

問い合わせ先
京都ノートルダム女子大学 学事課・連携推進室
075-706-3661 gakuji@ml.notredame.ac.jp
駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください